

# 支庁の風

平成 13 年 4 月 1 日 < 隔月 >  
支庁広報 第 1 号  
発行所  
東京都八丈支庁総務課  
〒 100-1492  
八丈島八丈町大賀郷 2446-2  
TEL 04996-2-1111 Fax04996-2-3601

## 八丈支庁広報「支庁の風」創刊

支庁広報の  
発行にあたって

八丈支庁長  
村杉 幸雄

八丈島・青ヶ島の島民の皆様に、日頃支庁の事業執行にあたり、ご理解、ご協力を頂き有難うございます。平成 13 年 4 月号を初刊とする支庁広報を発行することになりました。名称は「支庁の風」です。島は風が強いところですが、風にもいろいろあります。「そよ風」「強い風」「暖かい風」「冷たい風」「潮風」「空つ風」・・・等々。それぞれの風、いろいろな風をひとまとめにして、広報「支庁の風」が島の皆様と支庁との風通しを良くし、島の発展の一助になれば幸いです。昨年 8 月に八丈支庁に赴任してきました。毎月 1 日に町、議会の広報紙（誌）は勿論のこと、警察等々あらゆる機関の広報紙（誌）が配布されていますが、支庁の広報が無くなりました。支庁の寂しく感じている島民の皆様の私たちが支庁も、島民の使命の福祉向上という大きな使命

感を持つて仕事を成す。PR などいす。たい。また、島民の皆様の意見も伺いたいたいと思つておりました。でも、これからは「支庁の風」を通して、島民の皆様から「暖かい風」や「よしければ」と思つておりました。発行するにあたり、支庁の風を今回の広報「支庁の風」を隔月発行とさせていただきます。当面はつりかへたり、欲張り、理想を追いかけたいです。当面は



末吉地区待望の歩道を備え、道路が皆様方のご協力のもと、完成しました。この道は、三叉路付近から三島神社までの約 280m 程度。す。な。か。でも、芦川橋を架けたことにより、急カーブの解消を図り、見通しの良い、安心して通行できる道路となりました。芦川橋は、末吉地区の中心に位置し、皆様方から親しみをもち、利用していただけたらと思います。また、曲線を基調としたデザインと歩道に八丈島を代表する花や魚の工夫を施してあります。中学校の生徒さんに書いていただきました。橋に命を吹きこんでいただき、橋が末吉地区の新たなシンボルとして、永く皆様方に利用されることを祈願したいと思います。

芦川橋の  
開通について

土木課管理係

# 八丈支庁の組織改正

八丈支庁の組織改正が、平成13年4月1日に行われました。

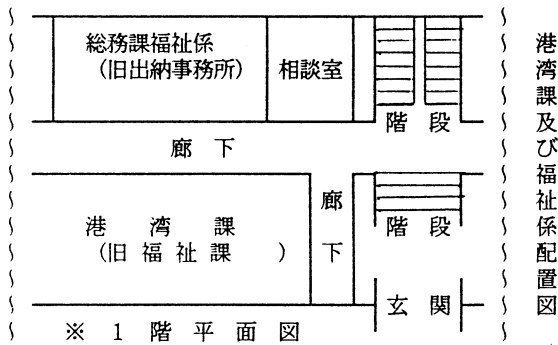
## (1) 福祉課の廃止

福祉課を廃止し、総務課に福祉係が設置されました。

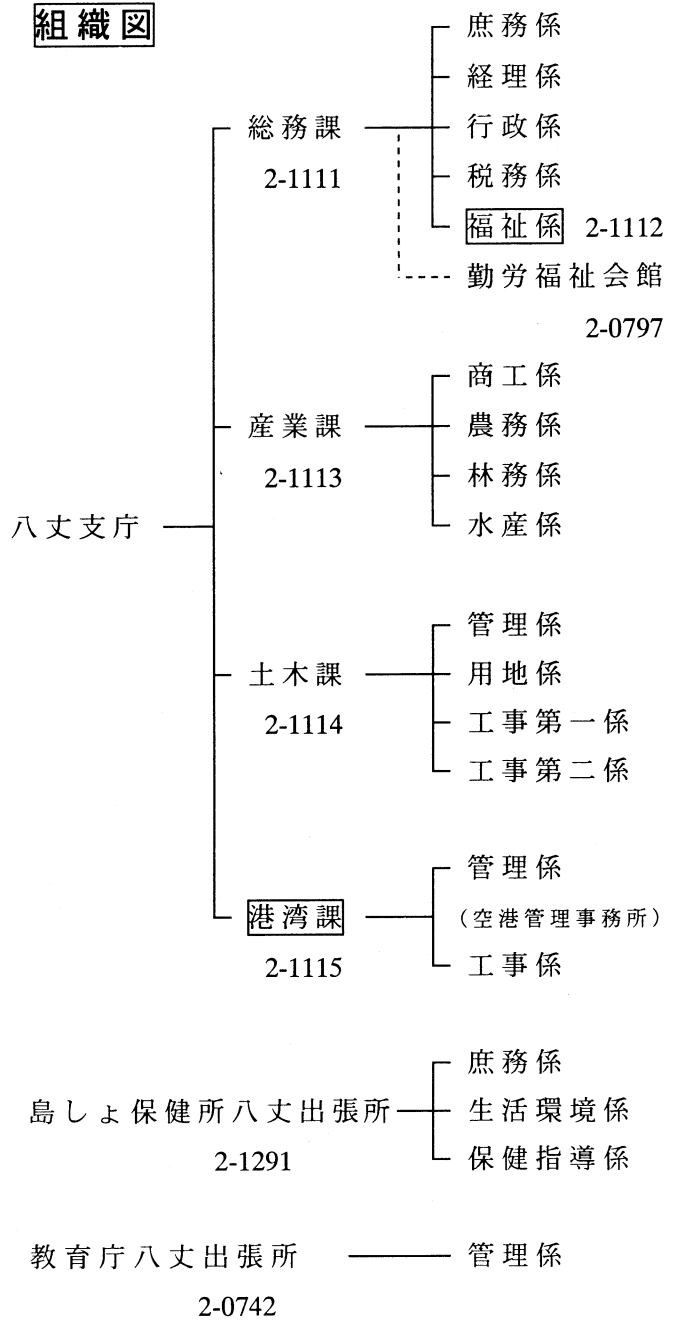
## (2) 港湾課の設置

総務課港湾空港係（空港管理事務所）と第五離島港湾工事事務所が統合されて、港湾課になりました。

港湾課の代表番号は、2-1115番です。港湾課にご用の方は、こちらの番号をお願いします。



## 組織図



格安ツアー  
 昨年、航空会社、町営バス、  
 ため、航空会社、町営バス、  
 ホテル、飲食店等が連携して、  
 1月から格安ツアーを実施して、  
 ました。当初の予定を上回る  
 人がこの島を訪れ、「八丈に  
 は噴火や地震の心配はない  
 ということを実感してもらい

観光客の横顔  
 本年1月、支庁と役場が合  
 同で観光実態調査を行いました  
 た。島の楽しみは、「温泉」  
 「のんびりする」「釣り」が  
 多く、「文化財巡り」「山歩  
 き」がこれに続きます。  
 また、「釣り」「ダイビン  
 グ」「サーフィン」を合わせ  
 ると、50%に及びます。  
 島を知ったきっかけは、「雑  
 誌やガイドブックをみて」「観  
 光パンフレットをみて」「友  
 人・知人のすすめ」が多くな  
 っています。  
 島で困ったことを聞くと3  
 割近くの人「特になし」と  
 答えています。その一方で、  
 「島の交通手段」「店や道  
 路の表示」という答えもあり  
 ました。

おもてなしの  
 島づくりを！

## 八丈支庁の事業予算

東京都の一般会計の予算規模は、前年度に比べ3.6%増の6兆2060億円、投資的経費は、1.6%減の4兆147億円と9年連続減少しております。八丈支庁の事業費につきましては、下表のとおりです。69億円となっております。

### 八丈町の主要事業

【土木課】都市計画道路（Ⅲ期区間）の八重根交通広場整備（新規着工）及び街路整地工事、道路改修工事（樫立地区は、新規着工）歩道設置工事（空港拡張に伴う歩道設置は、新規着工）小骨ヶ洞砂防工事（新規着工）、海岸災害防除工事を実施します。【港湾課】八丈島空港拡張のための道路付替及び空港用地造成（新規着工）、神湊港の護岸（防波）、神湊漁港及び洞輪沢漁港の防波堤延伸のたための調査設計を実施します。なお、八重根漁港海岸壁は今年度に完成します。【産業課】こん沢・三原林道の舗装改良、中之郷漁港沖の大型魚礁設置工事、農業振興の補助事業を実施します。

### 青ヶ島村の主要事業

【土木課】金土ヶ平道路改修工事、池之沢道路災害防除工事を実施します。【港湾課】青ヶ島港の防波堤延伸工事及び護岸工事を実施します。【産業課】大千代復旧治山工事を実施します。八丈支庁の事業を実施するにあたっては、八丈町や青ヶ島村とも十分協議し、住民の皆様にご協力をお願いいたします。

## 八丈支庁事業当初予算

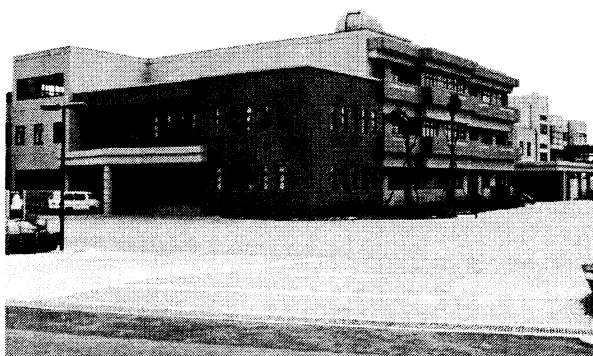
(百万円)

課 別	13年度	12年度	増 減 別
土 木 課	2,764	2,604	160
港 湾 課	3,752	3,786	△ 34
産 業 課	394	247	147
合 計	6,910	6,637	273

※港湾課の12年度は港湾事務所

## 八高新校舎が完成

都立高校でも有数な近代施設を備えた、立派な八丈高等学校校舎が昨年12月に完成しました。5月26日に開校50周年記念式典及び落成式を行いました。なお、現在行われている、プール棟改築及び旧校舎解体工事、体育館棟改築工事及び既存体育館解体工事、グラウンド整備工事は、平成14年度末までに終了する予定です。



## ひとりひとりが

### 観光の主役

2月7日国土交通省で開かれた観光復興関係者連絡会議では、役場、観光協会、支庁が出席し、観光不振の実態を報告するとともに、八丈島への観光客誘致を旅行会社、運輸機関、旅行出版社等にお願いたしました。各社とも我々の話に熱心に耳を傾けてくれました。あとは、私たち迎える側のやる気です。観光で来られた方々が、私たちと楽しく交流しながら、良い思い出を作り、その感動を誰かに伝えることで、「八丈ファン」が広がっていきま

す。観光の振興は、関係者だけでなく、この島で生活するみんなが、「おもてなし」の心を持つて、観光客を迎えることから始まります。

産業課商工係



## 自動車税に

### ついてのお願い

自動車税は、道路を利用することに対して、その整備費などを負担してもらおうという性格を持っています。

納める方(納税義務者)は、毎年4月1日現在、自動車の所有者として、自動車検査証(車検証)に記載されている方になります。納期は、5月31日になっておりますので忘れずに納めてください。なお、年度の途中で登録を抹消したときは、その登録が行われた月までの月割りで課税されます。既に全額納税されている場合には、月割計算して還付されません。また、壊れて動かない自動車にも税金がかかっています。すぐに管轄の陸運支局等に抹消(廃車)の登録をしてください。

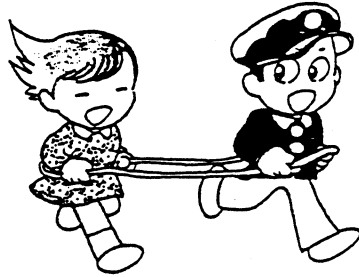


お問い合わせは

総務課税務係  
二一〇一一一

## 春季「島しょ子ども巡回相談」の実施について

東京都児童相談センターでは、春と秋の年2回子ども問題に関する島しょ巡回相談を行っています。



専門の医師、心理技術、児童福祉司等が来島し、養育、問題行動、知的障害、不登校など子どもに関する相談に応じています。今年度も、例年どおり、「巡回相談」を5月に予定しています。日程・会場の詳細については、後日町村の広報紙等でお知らせする予定です。是非この機会をご利用ください。

お問い合わせは

総務課福祉係  
二一〇一一二

## マナーをまもって!

### 犬の糞の話

支庁土木課では、都道の管理を行っているほか、八丈植物公園、大瀉浦園地、南原園地などの整備・管理を行っています。このところ、とても目に付き大変困っているのは、犬の糞を始末しない飼い主が多いと言っています。道路の真ん中、歩道の植樹帯、公園や園地の芝生等々、場所を選びません。

犬を飼っているみなさん、犬を散歩させるときは、最低限のマナーとして、みだりに糞をさせないようにして下さい。もし、してしまったら、飼い主が責任を持って片づけ下さい。



道路や公園は、みんなの利便する場所です。誰もが気持ちよく過ごせるように、ご協力をお願いします。

土木課工事第二係

二一〇一一四

## 支庁の動き

☆「芦川橋」開通式

平成13年4月14日(土)  
十一時から

☆都市計画道路

三期区間交通開放  
ヤケンガ浜前付近から  
ビューホテル入口付近まで  
1650mを4月中に  
供用開始

☆春の交通安全運動

4月6日〜15日  
支庁では、都道のパト  
ロールなどを行ないます。

## 編集後記

フリージアの満開の季節になりました。編集委員の「支庁の風」創刊号は、編集委員の手づくりで完成しました。不慣れで、少し堅い内容の記事が多くなり、読みやすさ、今後は皆様に親しみやすく充実した紙面に親なるよう努力したいと思っております。お読みいただいた感想やご意見を、お寄せ頂ければと思います。

編集委員一同